国南通信 2月号　　高松市立国分寺南部小学校

縄跳びをがんばっている子どもたちから！

校長　大石　桂司

１月に入り、はつらつの時間（１０：１０～１０：３０）には多くの子どもたちが運動場で縄跳びにチャレンジしています。得意な技で長時間跳んでいる子もいれば、苦手な技にチャレンジして跳べるようにがんばっている子もいます。それぞれが、自分の目標に向かってチャレンジしている姿を見ることは、本当に楽しい時間です。

「先生、数を数えて！」と言って目を輝かせながら跳んでいる姿を見ていると、応援したくなり、また微笑ましく思います。

さて、１月号では「感動」という言葉をキーワードにして教育活動を進めていきたいと書かせていただきました。

「二重跳びが出来るようになったよ。」と報告してくれる子どもは、跳べるようになった瞬間に、きっと自分の力に感動したに違いありません。この体験を大人がどうくみ取り、次の感動につなげていくかがポイントになると思います。「自分はできる」という成功体験の積み重ねが、子どもたちの更なる意欲につながります。子どもたちの言動に注意し、称賛することの大切さがここにあります。

２月は寒さが厳しくなる時期ですが、同時に１年間のまとめも行います。クラブや委員会活動のまとめ、生活科や総合的な学習のまとめなど、自分の成長を感じ取る絶好のチャンスである月です。

ご家庭でも、子どもたちのがんばりはもちろんのこと、お子さんの自ら発する言動に耳を傾け、一緒に成長を感じ取っていただければ幸いです。

2月の生活目標

「自分に合った体力づくりをしよう」

３学期が始まり、1か月が過ぎました。まだまだ寒い日が続いていますが、学校では１月16日（火）より、体力づくりのために、はつらつタイムの時間に、時間跳びの音楽が流れるようになりました。多くの子どもたちが自主的に時間跳びに挑戦しています。寒さに負けず、元気に活動する子どもたちが増えていることは、うれしいことです。活動後は、手洗いやうがいの声掛けをして、健康管理にも気を付けていきたいと思います。

【はつらつタイムのなわとびの様子】